

株式会社4°Cホールディングス
(東証一部 8008)

第70期(2020年2月期)第2四半期決算説明会

2019年10月7日

4°C holdings group

「Canal」のリブランディングが9月よりスタート

ロゴを「canal4°C」から「Canal produced by 4°C」へリニューアル
トレンド性・デザイン性の高いファッションジュエリーセレクトショップへ

Canal

Produced by 4°C



- **売上高ほぼ前年同期並み、営業利益は前年同期比110.1%と伸長、利益面は計画を上回る推移**
- **ジュエリー事業は重点施策への取り組みに成果**
 - **ブライダルジュエリー、各種施策が奏功し既存店売上高が伸長**
 - **不採算店舗の圧縮により店舗収益率が向上**
 - **自家需要の売上構成比が着実に上昇**
- **アパレル事業は好調に推移**
 - **アパレルメーカー事業は利益率が向上し増益**
 - **デイリーファッション事業は着実な出店により売上高拡大、過去最高益更新**

Contents

I. 2020年2月期第2四半期決算概要

II. 2020年2月期通期業績予想、下期取り組み

III. 中期的戦略アプローチ

(株)4°Cホールディングス 代表取締役会長・CEO 木村 祭氏

代表取締役社長・COO 瀧口 昭弘

※資料内の数値は百万円未満を切り捨て表示し、百分率は原データから算出しております。

当資料の業績予想に関する記述、及び客観的事実以外の記述に関しましては、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、当社の事業をとりまく経済情勢、市場の動向、為替レートなどに関わる様々な要因により、記述されている業績予想とは大幅に異なる可能性があることをご了承ください。

Contents

I. 2020年2月期第2四半期決算概要

II. 2020年2月期通期業績予想、下期取り組み

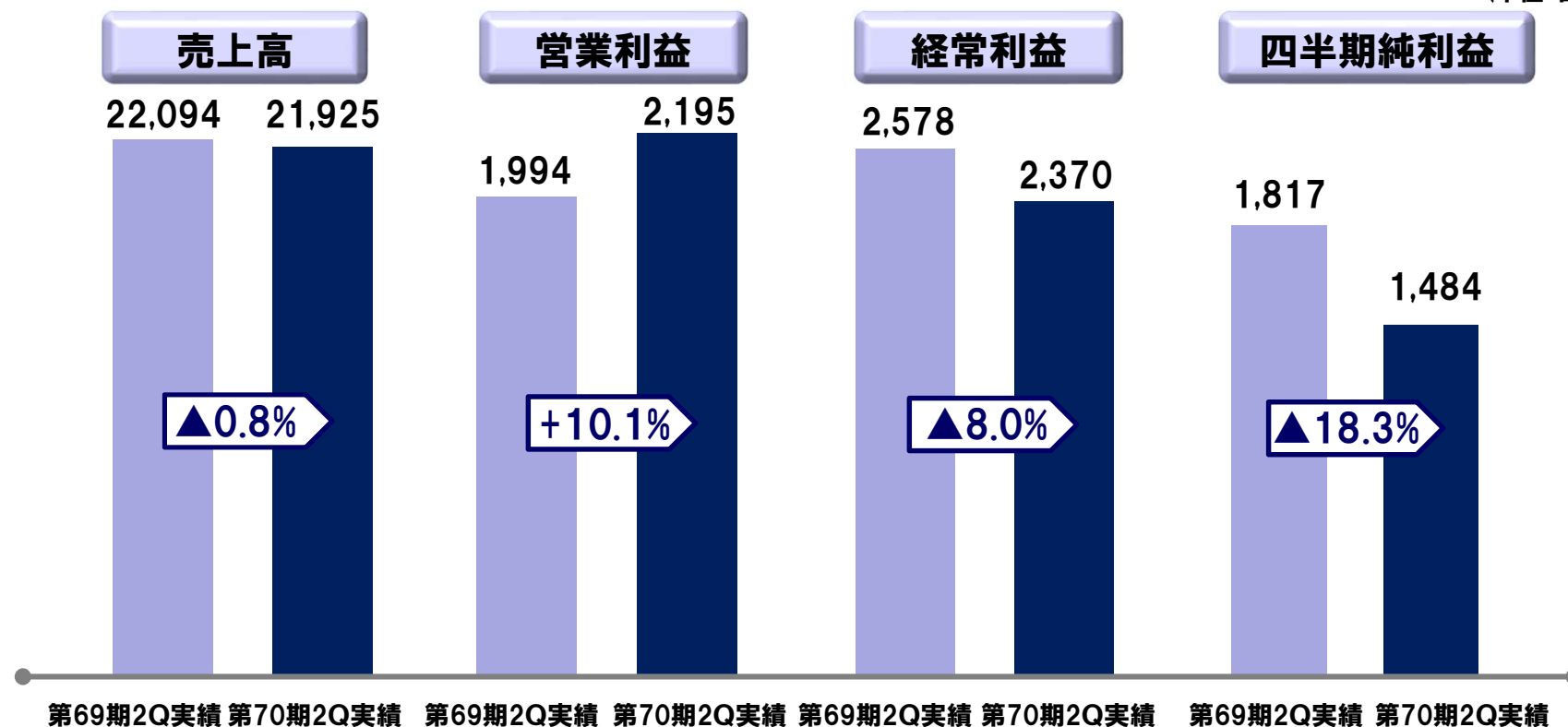
III. 中期的戦略アプローチ

2020年2月期第2四半期連結業績の概要①

- 売上高は前年同期並みも営業利益は2桁増益、当期より持分法投資利益は無くなるが、経常利益、四半期純利益ともに実質増益。
- 営業利益、経常利益は計画を上回り好調に推移。

売上高	219.2億円(前年同期比0.8%減)	営業利益	21.9億円(同10.1%増)
経常利益	23.7億円(同8.0%減)	四半期純利益	14.8億円(同18.3%減)

(単位:百万円)



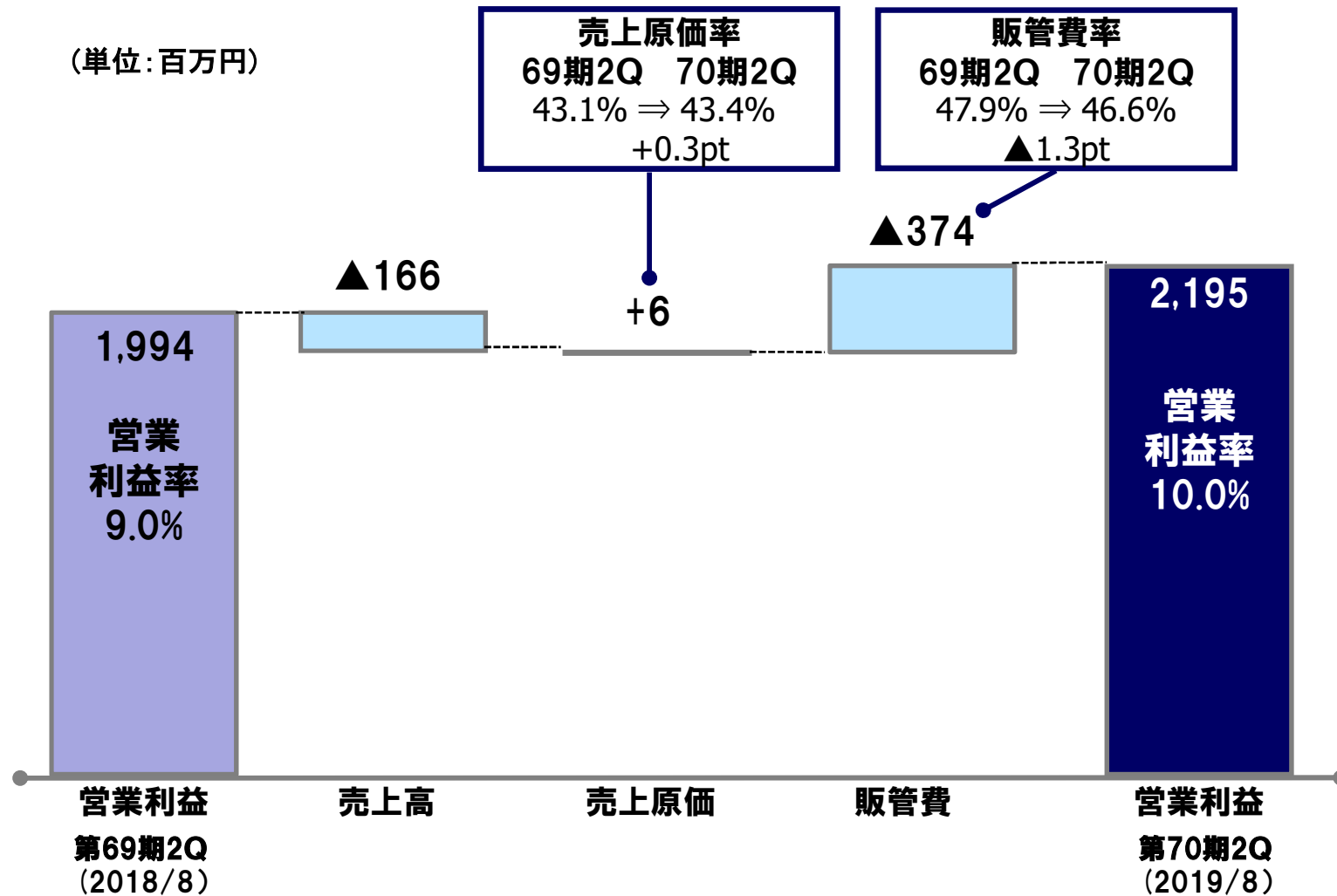
2020年2月期第2四半期連結業績の概要②

(百万円、%)	第69期2Q (2018/8)		第70期2Q (2019/8)				前年 同期比 増減(%)	計画比 増減(%)
	実績	(%)	計画	(%)	実績	(%)		
売上高	22,094	100.0	22,400	100.0	21,925	100.0	▲0.8	▲2.1
売上総利益	12,582	56.9	12,660	56.5	12,408	56.6	▲1.4	▲2.0
売上総利益率	56.9		56.5		56.6		▲0.3	+0.1
販売管理費	10,587	47.9	10,560	47.1	10,213	46.6	▲3.3	▲3.5
内、のれん償却費	248	1.1	248	1.1	248	1.1	248	±0
営業利益	1,994	9.0	2,100	9.4	2,195	10.0	+10.1	+4.5
経常利益	2,578	11.7	2,250	10.0	2,370	10.8	▲8.0	+5.4
四半期純利益	1,817	8.2	1,500	6.7	1,484	6.8	▲18.3	▲1.0

《参考》 重点経営指標 (百万円、%)	第69期2Q (2018/8)		第70期2Q (2019/8)				前年 同期比 増減(%)	計画比 増減(%)
	実績	(%)	計画	(%)	実績	(%)		
のれん償却前営業利益	2,243	10.1	2,348	10.5	2,443	11.1	+8.9	+4.1
のれん償却前四半期純利益	2,065	9.3	1,748	7.8	1,732	7.9	▲16.1	▲0.9

※のれん償却前営業利益＝営業利益＋のれん償却額、のれん償却前当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益＋のれん償却額

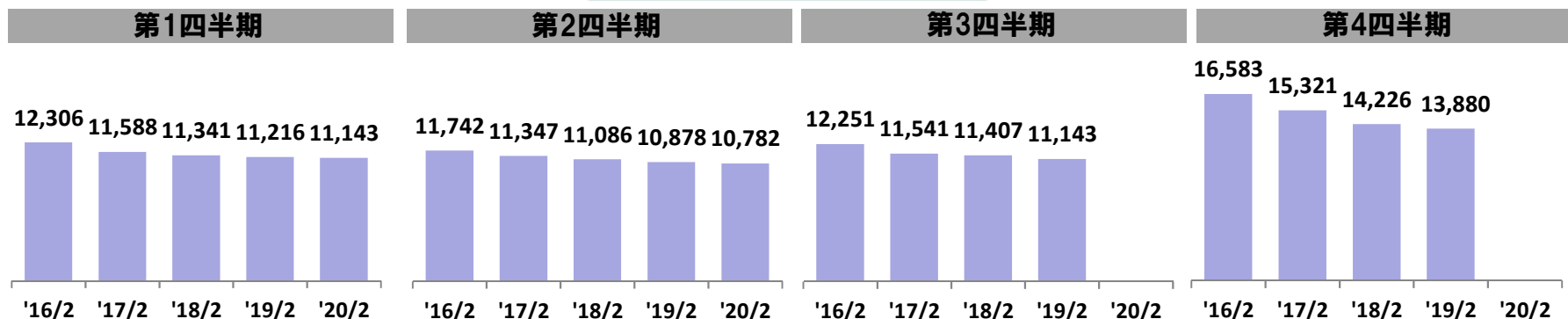
営業利益の状況



四半期業績の推移

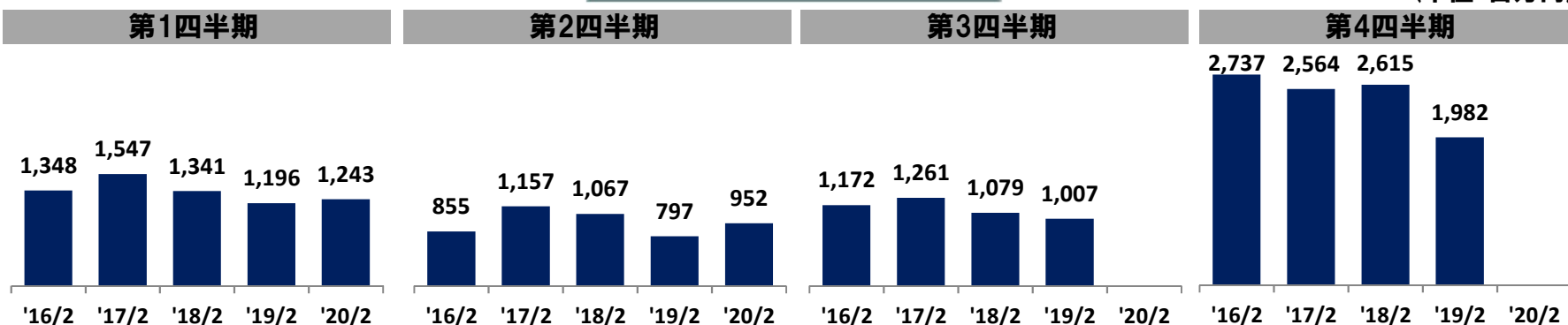
売上高

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)

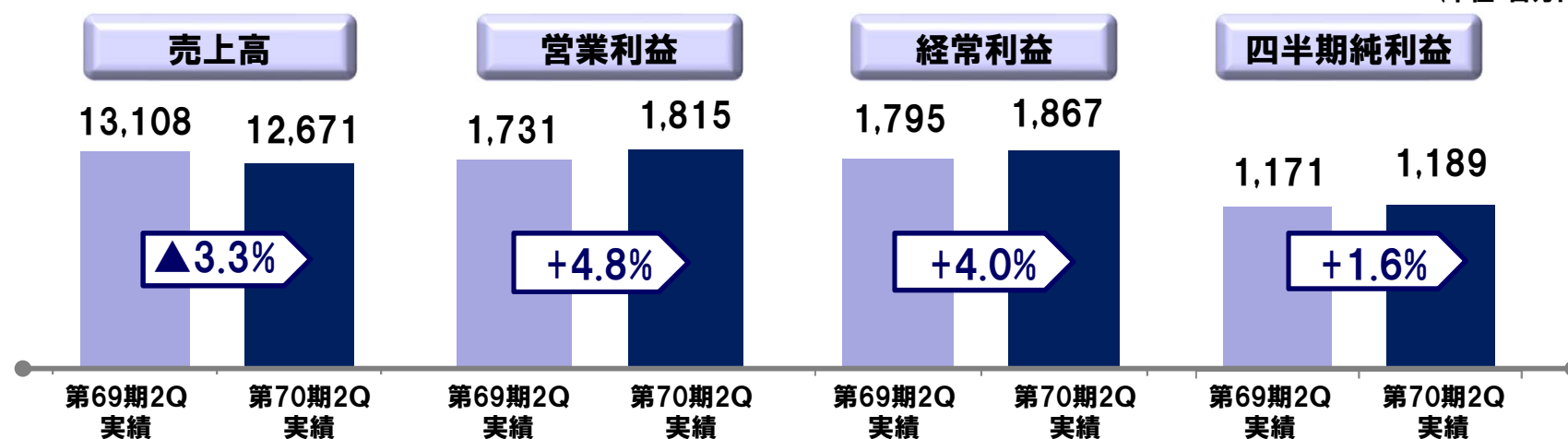


(単位:百万円)	第69期 1Q期間	第69期 2Q期間	第69期 上期累計 (2018/8)	第70期 1Q期間	第70期 2Q期間	第70期 上期累計 (2019/8)	前年同期差	前年同期比
売上高	11,216	10,878	22,094	11,143	10,782	21,925	▲169	▲0.8
売上総利益	6,497	6,085	12,582	6,379	6,029	12,408	▲174	▲2.0
営業利益	1,196	797	1,994	1,243	952	2,195	+201	+10.1

セグメント別業績の概要～ジュエリー事業

- 減収増益、既存店売上高は回復基調
- ブライダルジュエリー、集客力向上に向けた各種施策が奏功し好調に推移
- 不採算店舗の圧縮を進めたことにより店舗収益率が向上

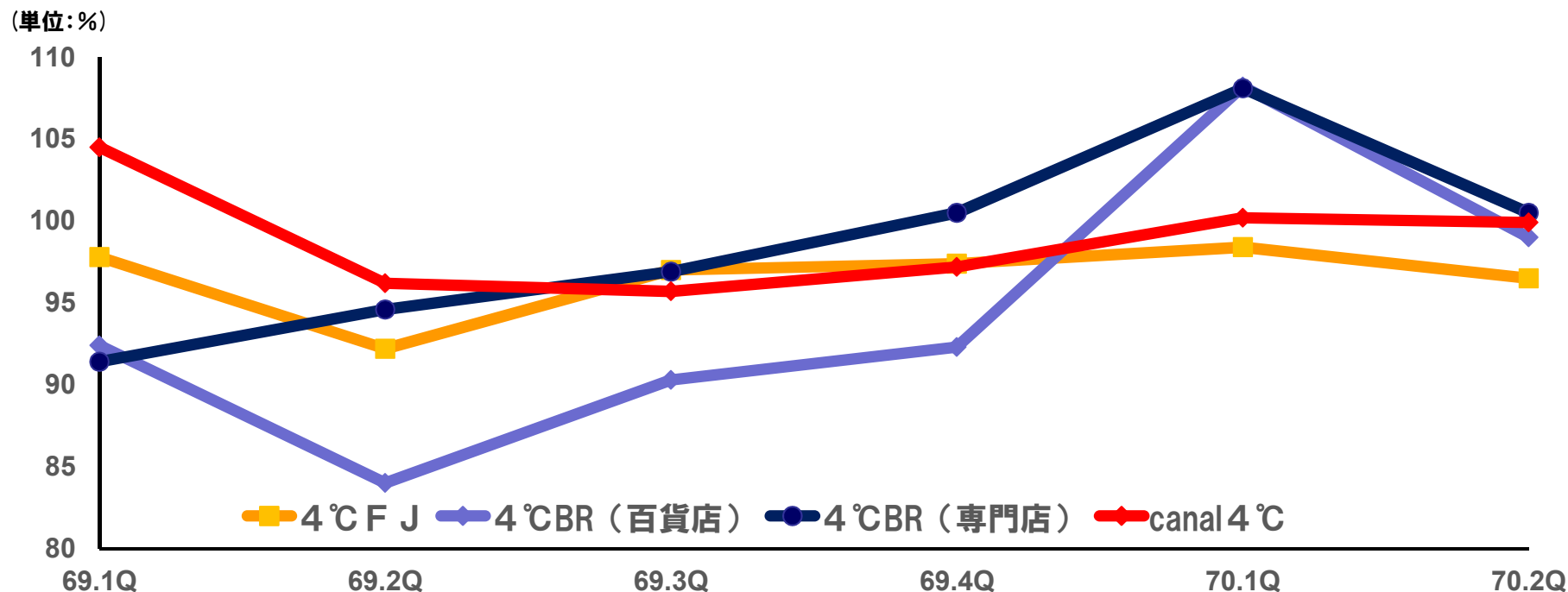
(単位:百万円)



(百万円、%)	第69期2Q (2018/8)		第70期2Q (2019/8)				前年同期比 増減(%)	計画比 増減(%)
	実績	(%)	計画	(%)	実績	(%)		
売上高	13,108	100.0	12,842	100.0	12,671	100.0	▲3.3	▲1.3
営業利益	1,731	13.2	1,850	14.4	1,815	14.3	+4.8	▲1.9
経常利益	1,795	13.7	1,900	14.8	1,867	14.7	+4.0	▲1.7
四半期純利益	1,171	8.9	1,300	10.1	1,189	9.4	+1.6	▲8.5

ジュエリー事業 主カブランド既存店売上高四半期推移

□ 課題であった百貨店チャネルの「4°C」ブライダルジュエリーを含め好調に推移

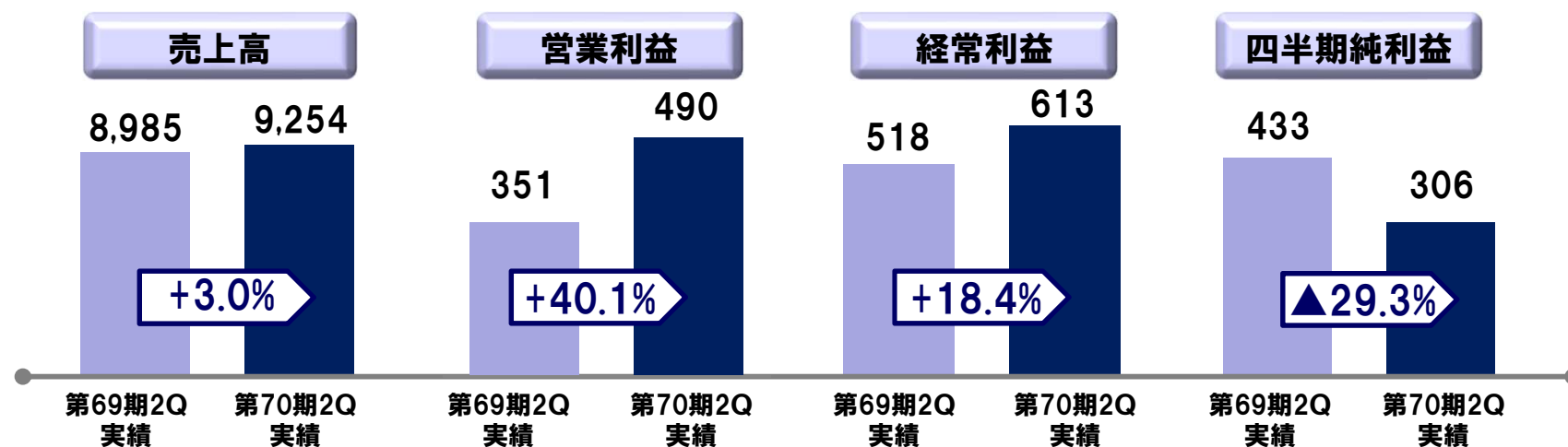


既存店売上高 前年同期比	69期 (2019年2月期)				70期 (2020年2月期)		
	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	上期
4°C F J	97.8	92.2	97.0	97.4	98.4	99.9	99.1
4°C B R (百貨店)	92.4	84.0	90.3	92.3	108.1	100.5	<u>104.1</u>
4°C B R (専門店)	91.4	94.6	96.9	100.5	108.2	99.0	<u>103.4</u>
canal 4°C	104.5	96.2	95.7	97.2	100.2	99.9	<u>100.1</u>

セグメント別業績の概要～アパレル事業

- 増収、営業利益、経常利益は増益かつ計画を上回る推移
- アパレルメーカー事業、荒利益率の改善や経費削減への取り組みが奏功し大幅増益
- デイリーファッション事業、出店拡大と利益率改善により増収、過去最高益更新

(単位:百万円)



(百万円、%)	第69期2Q (2018/8)		第70期2Q (2019/8)				前年同期比 増減(%)	計画比 増減(%)
	実績	(%)	計画	(%)	実績	(%)		
売上高	8,985	100.0	9,562	100.0	9,254	100.0	+3.0	▲3.2
営業利益	351	3.9	438	4.6	490	5.3	+40.1	+12.0
経常利益	518	5.8	533	5.6	613	6.6	+18.4	+15.0
四半期純利益	433	4.8	331	3.5	306	3.3	▲29.3	▲7.6

財政状態、キャッシュ・フローの状況(連結)

- 総資産552億円、負債145億円、純資産406億円
- 財務CF、株主還元水準の向上、自己株式取得約31億円、配当金約9億円

財務状況

2019年8月末時点

総資産 552億円	145億円	負債
	406億円	純資産

キャッシュ・フロー

(単位:百万円)	第69期2Q (2018/8)	第70期2Q (2019/8)	差額
営業CF	1,230	405	△825
投資CF	△1,020	23	+1,043
財務CF	△967	△3,640	△2,673
フリーCF	+210	+428	+218

出退店の状況と計画

- ジュエリー事業は「Luria4°C」(※バッグ・革小物)を中心とした不採算店舗の圧縮により店舗収益率の向上を図る
- アパレル事業、「パレット」の出店拡大が順調に進む

		ジュエリー事業					アパレル事業		合計
		国内					海外	パレット	
		路面店 ブティック	百貨店	ブライダル ショップ	ファッション ビル	計			
第69期 (2019/2)	期末	5	76	42	86	209	4	71	284
第70期 上期実績 (2019/8)	出店	0	1	2	1	4	0	3	7
	退店	2	6	3	4	15	1	1	17
	2Q 期末	3	71	41	83	198	3	73	274
第70期 下期計画 (2020/2)	出店	0	5	0	3	8	0	2	10
	退店	0	7	0	10	17	0	0	17
	期末	3	69	41	76	189	3	75	267

ジュエリー事業における国内取扱いブランド店舗数の状況と計画

		4°C	4°C BRIDAL	Canal Produced by 4°C	EAU DOUCE 4°C	MAISON JEWELL	ジュエリー計	Luria4°C	合計
第69期 (2019/2)	期末	91	42	46	23	7	209	50	259
第70期 上期実績 (2019/8)	出店	2	2	0	1	0	5	0	5
	退店	6	3	1	3	1	14	9	23
	2Q 期末	87	41	45	21	6	200	41	241
第70期 下期計画 (2020/2)	出店	6	0	2	0	0	8	0	8
	退店	7	0	0	0	0	7	14	21
	期末	86	41	47	21	6	201	27	228

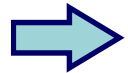
※同一店舗にて複数のブランドを扱う複合店は各ブランドごとに1店舗として計上

※「4°C」出退店のうち5店舗は館内移動によるもの

株主還元① 自己株式の取得状況及び消却

自己株式取得

- 2019年2月期 約325万株
- 2020年2月期 148万株



2期で約473万株の取得を実施

◆ 2019年10月7日リリース

自己株式 500万株の消却を決議

※発行済み株式総数(自己株式含む)に対する17.05%

☆ 消却実施日 2019年10月15日

□ 自己株式の取得を積極的に実施、連続増配へのこだわりも堅持

- 2020年2月期、現時点で148万株(約36億円)の自己株式取得を実施
- 過去の取得分も含め自己株式500万株の消却を決議
- 2020年2月期の中間配当金は、前年同期比2.5円増配の40円
- 2020年2月期の年間配当金は、前期比5円増配の80円を予想

(9期連続増配)

	第68期 (2018/2)	第69期 (2019/2)	第70期 (2020/2) 予想
1株当たり年間配当金(円)	65.0	75.0	80.0
配当性向(%)	31.4	78.1	52.8
総配分性向(%)	31.4	374.1	162.9

Contents

I. 2020年2月期第2四半期決算概要

II. 2020年2月期通期業績予想、下期取り組み

III. 中期的戦略アプローチ

2020年2月期 通期連結業績予想

(百万円、%)	第69期(2019/2)		第70期(2020/2)		前期比
	実績	(%)	通期予想	(%)	増減(%)
売上高	47,118	100.0	47,300	100.0	+0.4
売上総利益	27,155	57.6	27,265	57.6	+0.4
売上総利益率	57.6		57.6		±0
販売管理費	22,171	47.1	22,165	46.9	±0
内、のれん償却費	496	1.1	496	1.0	±0
営業利益	4,984	10.6	5,100	10.8	+2.3
経常利益	6,804	14.5	5,400	11.4	▲20.6
当期純利益	2,440	5.2	3,400	7.2	+39.3
《 参考 》					
のれん償却前営業利益	5,480	11.6	5,596	11.8	+2.1
のれん償却前当期純利益	2,937	6.2	3,896	8.2	+32.7

※のれん償却前営業利益＝営業利益＋のれん償却額、のれん償却前当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益＋のれん償却額

2020年2月期 重点経営指標の予想

のれん償却前利益による

	第69期 (2019/2)	第70期 (2020/2) 予想
営業利益(百万円)	5,480	5,596
ROE(%)	6.2	9.1
EPS(円)	115.6	174.1

※のれん償却前営業利益＝営業利益＋のれん償却額

※のれん償却前当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益＋のれん償却額

セグメント別通期業績予想(内部相殺後数値)

- ジュエリー事業は、ブライダルジュエリーの好調な推移や、不採算店舗の圧縮による収益力向上に取り組むことで、減収ながら増益の見通し
- アパレル事業は、アパレルメーカー事業の利益率向上およびパレットの出店拡大により増収増益の見通し

(百万円、%)		第69期 (2019/2)	第70期(2020/2)			
		実績	上期実績	下期予想	通期予想	前期比
ジュエリー事業	売上高	29,295	12,671	15,829	28,500	▲2.7
	営業利益	4,465	1,815	2,785	4,600	+3.0
	経常利益	4,572	1,867	2,833	4,700	+2.8
	当期純利益	2,981	1,189	2,011	3,200	+7.3
アパレル事業	売上高	17,822	9,254	9,546	18,800	+5.5
	営業利益	603	490	250	740	+22.7
	経常利益	904	613	312	925	+2.3
	当期純利益	4,582	306	254	560	▲87.8

ジュエリー事業

- 「4°C」ブランドの価値向上、自家需要拡大施策の継続
- 発信力の強化によるブランドイメージの向上
- クリスマス商戦へ向けた施策への取り組み
- ブライダルジュエリーの競争力向上
- 「Canal」リブランディングによる自家需要の拡大
- 顧客管理システムの導入による消費者エンゲージメント強化

アパレル事業

- アパレルメーカー事業におけるODM機能の強化
- デイリーファッション事業「パレット」の出店による関西ドミナントの深耕

「4°C」ブランドの価値向上、自家需要拡大施策の継続

4°C
holdings group

- 商品力の強化、プロモーションを通じたブランドイメージの上質化
- 「4°C」ファッションジュエリー、シーズナルな商品や耳周り商材の拡充により、女性顧客の売上高は6.5%増、女性の自家需要による売上高は7.5%増
(※2020年2月期第2四半期 既存店ベース)



発信力強化によるブランドイメージ向上①

4°C
holdings group

- オウンドメディア「JEWELRY TIMES」によるジュエリーへの興味喚起
- 素材のエピソードやお手入れの方法等、ジュエリーにまつわるトピックスを発信

オウンドメディア「JEWELRY TIMES」



4°Cのシンプルで上品な一粒ダイヤネックレス。ヘアスタイルで抜け感を。



この夏はシックな浴衣にカラーストーンジュエリーを合わせてみて



ふたつの輪を重ねたデザイン「ダブルループ」に込めた想いとは。

(掲載記事の一部)

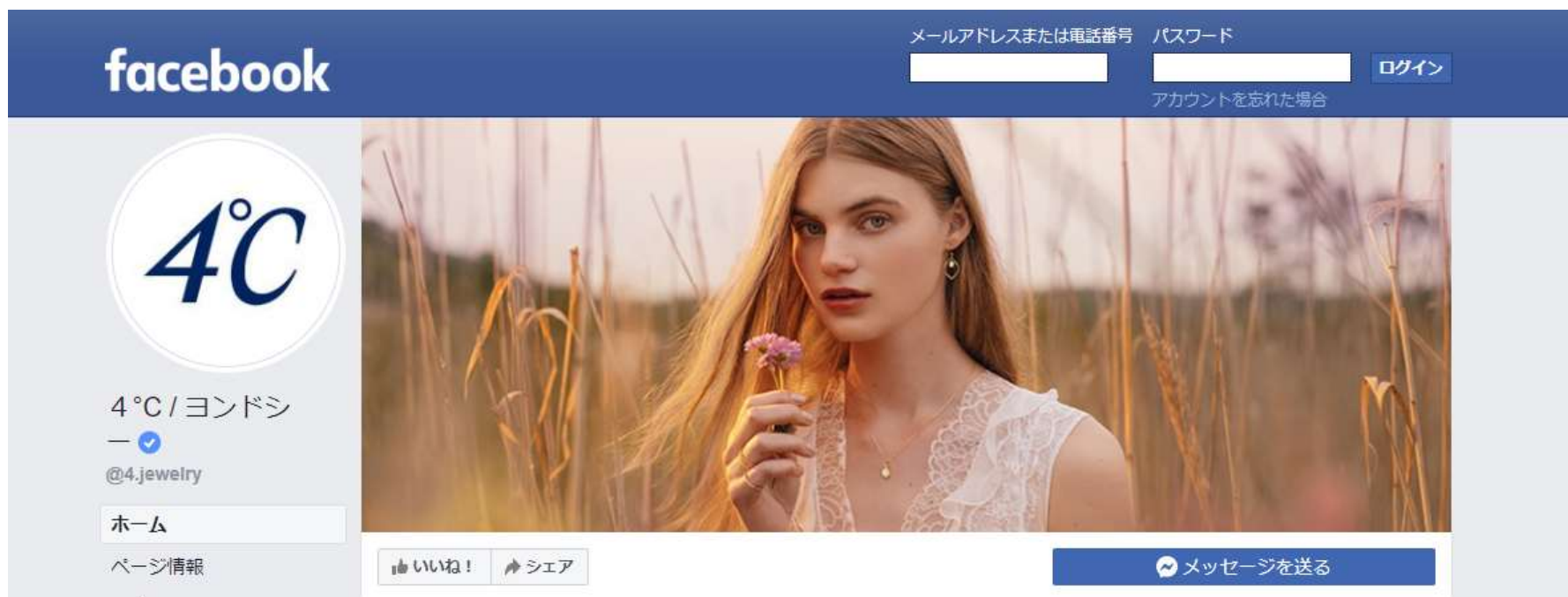


JEWELRY TIMES

発信力強化によるブランドイメージ向上②

4°C
holdings group

- SNSの積極的な活用により、情報をファンのみならず幅広い層へ
- ジュエリーの魅力を多くの方へ伝える



その他



Twitter



Instagram



LINE
公式アカウント



Official App

クリスマス商戦に向けて①

4°C
holdings group

- 12月の祝祭日減少の影響を見据え、クリスマスギフト需要を早期に喚起
- 独自性ある商品・サービスにより、自分へのご褒美としてのニーズも取り込む



「4°C」クリスマス限定商品

クリスマス商戦に向けて②

- クリスマスプロモーションのクリエイティブ向上
- TVCMやWEB、雑誌媒体等、幅広いアプローチを展開



ブライダルジュエリーの競争力向上①

4°C
holdings group

- お客様との接点の増加やWEBメディアでの発信力強化による集客力の向上
- サービスの充実やオリジナル商品の展開により独自の世界観を演出



4°C Aqua Crownシリーズ



4°C カレンダーリング

ブライダルジュエリーの競争力向上②

- ブライダル専門店における取扱いアイテムの拡充
- 記念日やお子様の誕生等、婚礼以外の需要に合わせた商品の提案



アニバーサリー需要に合わせた各種商品

「Canal」リブランディングによる自家需要の拡大①

4°C
holdings group

- サインを「canal4°C」から「Canal Produced by 4°C」に変更(※一部店舗除く)
- 「Canal」独自のポジショニング確立

Before

canal 4°C



After

Canal

Produced by 4°C



「Canal」リブランディングによる自家需要の拡大②

4°C
holdings group

- 国内外のデザイナーの商品も取り扱うファッションジュエリーセレクトショップへ
- トrendに敏感な女性に対し、幅広いデザインのアイテムを提案



「Canal」リブランディングによる自家需要の拡大③

4°C
holdings group

□ 改装によるリニューアル店舗の展開、2020年2月期2店舗実施

(9/4 横浜ランドマークプラザ店、9/6福岡パルコ店)



「Canal」リブランディングによる自家需要の拡大④

4°C
holdings group

- オープン什器、側面接客を取り入れ体験価値を訴求
- 成長チャネルであるSC・駅ビルにて更なる拡大を目指す



「Canal Produced by 4°C」オープン什器

顧客管理システムの導入による 消費者とのエンゲージメント強化

4°C
holdings group

- 10月中旬より顧客管理システムを稼働、リピート率の向上を図る
- システムを通じたコミュニケーションにより、お客様との関係性を深める

1. 商品購入



F. D. C. PRODUCTS
4°C Members Club

2. 会員登録



3. メッセージ配信



4. 来店誘致



アパレルメーカー事業 ODM機能の強化

4°C
holdings group

- 商品企画力と海外生産背景を強みに得意先と取り組み強化
- 原価率の低減と経費削減による収益力向上



デイリーファッション事業 「パレット」の出店による関西ドミナントの深耕

4°C
holdings group

- 売上高100億円に向け、出店拡大・既存店の活性化に注力
- 積極的な販促施策の実行による認知度、客数の向上
- 直流でのコンテナ納品や商品開発への取り組みによる原価率の低減



「パレット」別所店



「パレット」養父店

Contents

I. 2020年2月期第2四半期決算概要

II. 2020年2月期通期業績予想、下期取り組み

III. 中期的戦略アプローチ

① ROE 10%[※]以上

② EPS 200円[※]以上

③ 連続増配、年間配当100円を目指す

※ のれん償却前当期純利益にて算出

(のれん償却前当期純利益＝親会社株主に帰属する当期純利益＋のれん償却額)

ジュエリー事業の再構築により 事業基盤の強化と自家需要の拡大をはかり 利益成長の幅を広げる

のれん償却前営業利益成長イメージ

成長要素

事業基盤

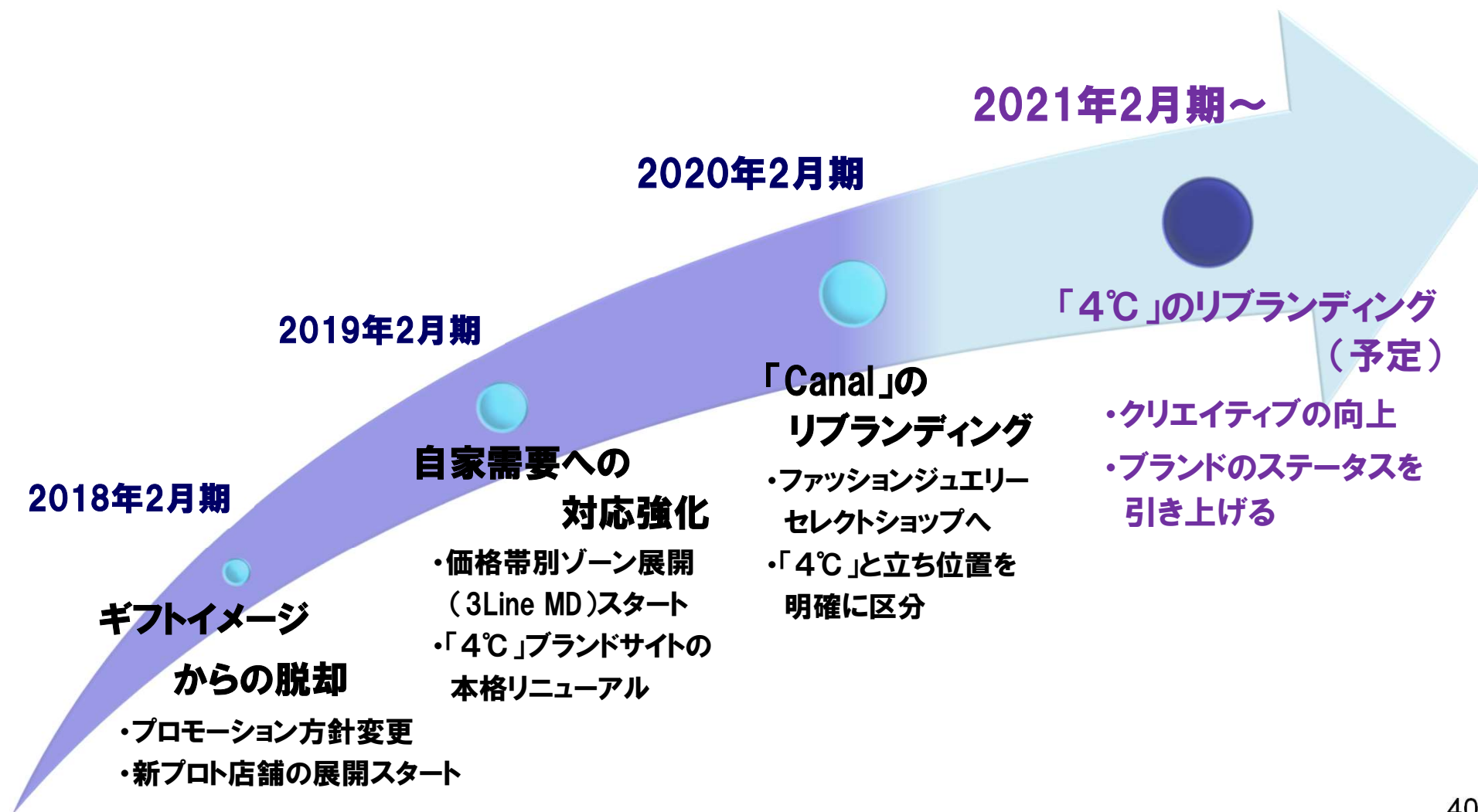
ジュエリー事業における
自家需要の拡大

ジュエリー事業の基盤強化
+
アパレル事業の安定成長

69期 (2019.2期) 70期 (2020.2期) 71期 (2021.2期) 72期 (2022.2期) 73期 (2023.2期) 74期 (2024.2期) 75期 (2025.2期) 76期 (2026.2期) 77期 (2027.2期) 78期 (2028.2期) 79期 (2029.2期)

「4°C」リブランディングへの取り組み

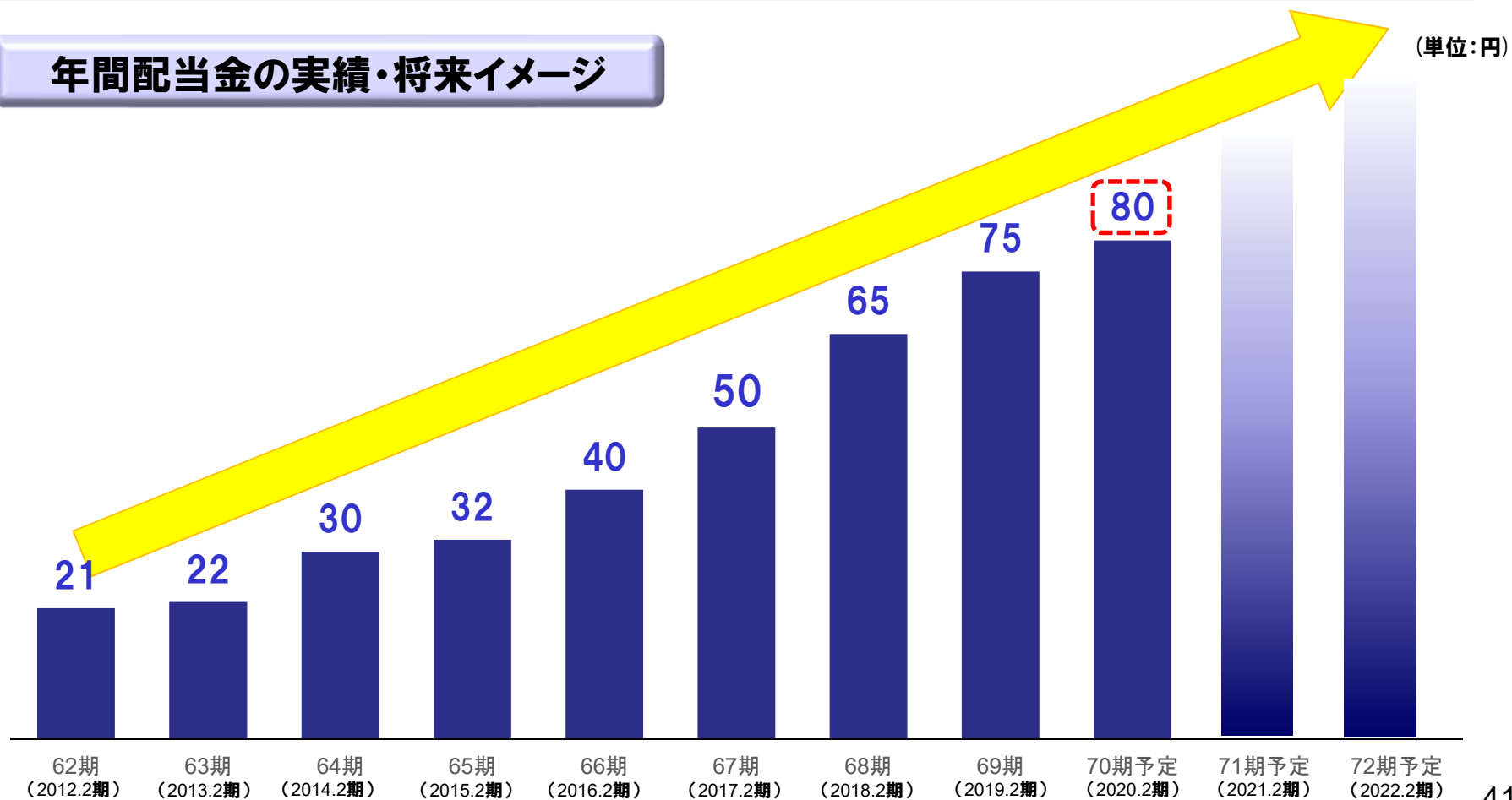
「4°C」ブランド価値向上に向けたリブランディングへの取り組み



連続増配へのこだわり

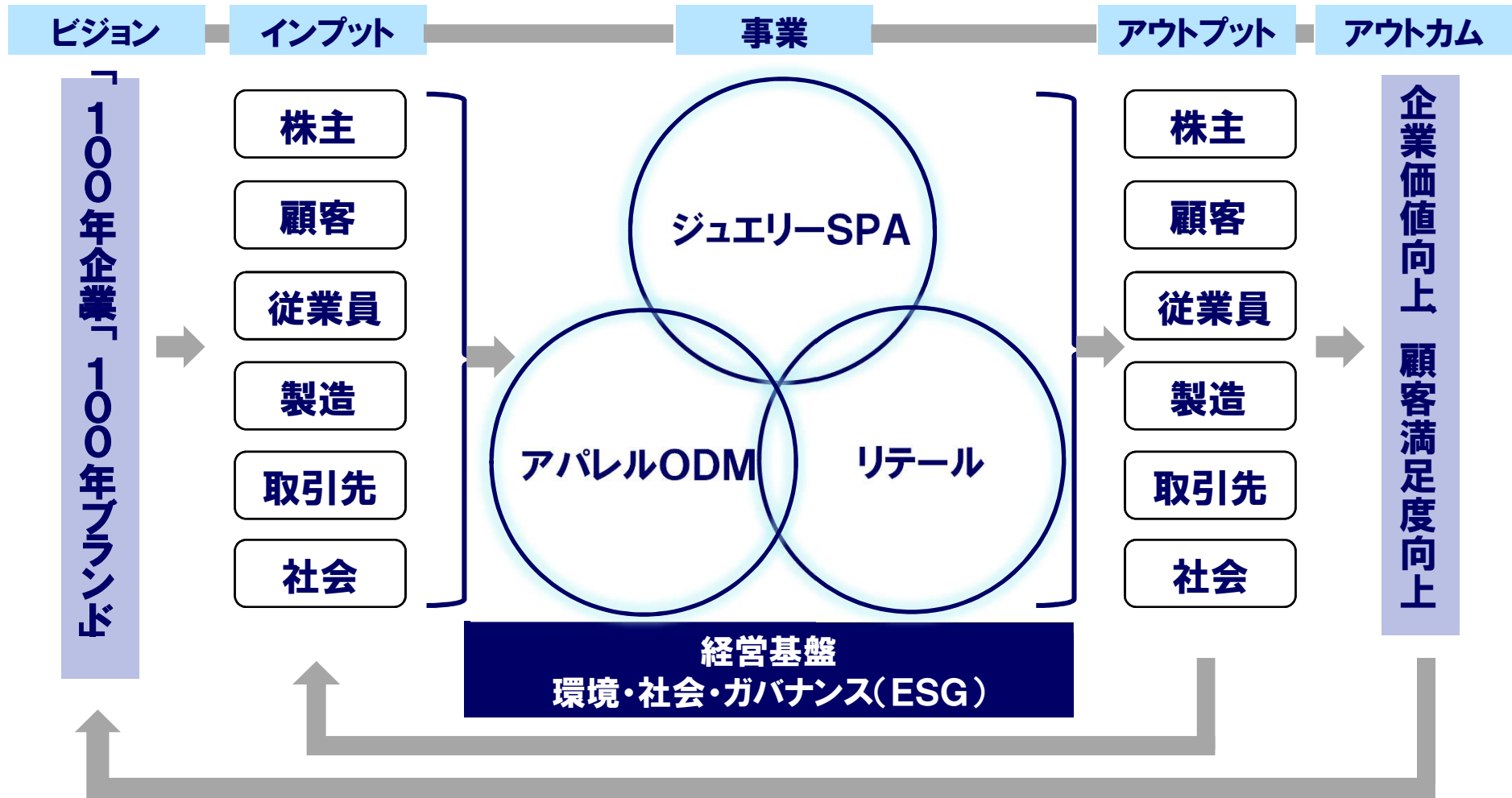
- 利益成長、還元水準の向上による増配へのこだわりを堅持
- 2020年2月期は5円増配の80円予定、9期連続の増配の見通し
- 将来的に年間配当100円を目指す

年間配当金の実績・将来イメージ



安定的・継続的成長に向けて～持続的価値の創出

ジュエリーSPA、アパレルODM、リテールの3事業で価値拡大を目指す



- ◆ RJC認証企業(株)エフ・ディ・シィ・プロダクツ)としてジュエリー業界における各分野の信頼性・水準向上へ寄与すべく邁進



※RJCとは・・・

「発掘から小売まで」の全工程において、ダイヤモンド・金・プラチナの「責任ある取引」を実現することを目的に、宝飾業界を対象とした社会・環境責任の範囲をカバーする規範と規格を開発する国際的な非営利組織

◆ 日本水フォーラムの評議員として水問題解決に向けた活動を継続的にサポート



(Bangladesh 雨水貯水タンク)

RJC認証取得



- 責任ある取引とサステナブル(持続可能)な経営・社会の実現に向けた取り組みを推進
- 品質、サービスの水準、価格や素材背景の透明性を高める
- 世界基準の認証資格を経ることで、ブランドの信頼性をより明確に示す

日本水フォーラムとの取組



- 日本水フォーラムのストラテジック・パートナーとして水問題解決に向けた活動を継続的にサポート
- チャリティフェア『アクアプログラム』による支援

- 2020年2月期第2四半期は**増益**、**営業利益**、**経常利益**は**計画以上の推移**。
- 2020年2月期通期業績は**計画通り増収増益**の見通し。
- ジュエリー事業ではCanalのリブランディングが9月よりスタート。運営の早期確立により**更なる成長**を目指す。
- 「4°C」のリブランディングは来期以降に本格展開、ブランド価値向上により、**永続性を確かなものへ**。
- アパレル事業は**好調に推移**、下期も着実に戦略を**押し進め**、**安定収益基盤事業**としての役割を果たす。

- 2019年4月公表の自己株式取得は**上限135万株**全ての取得を達成。前期からの取得約473万株に対し**500万株の消却**を10月15日に実施することを決議。
- **9期連続の増配**を予定。将来の100円配当の実現に向け、**連続増配へのこだわり**を堅持し、引き続き株主還元の水準向上を図る。
- 中期的な目標として掲げている**ROE10%以上、EPS200円**以上の達成に向け、ジュエリー事業での利益成長を描く。
(※のれん償却前当期純利益ベース)
- **国内トップジュエラー**として、経営の質を更に高め、業界各分野の水準向上へ貢献していく。

本資料ならびにIRに関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

株式会社4℃ホールディングス

経営企画課 小塚(コヅカ)・森山・森

TEL 03-5719-3274

FAX 03-5719-4462

E-mail ir-yondoshi@yondoshi.co.jp

※将来に亘る部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。

予想と異なる結果となる可能性があることをご認識の上ご活用下さい。